

審査結果概要書

平成 24 年 8 月 31 日

審査機関名 シー・アイ・ジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	食品工場における温水製造用ヒートポンプへの転換による CO2 削減事業
排出削減事業者名	株式会社中央
排出削減共同実施事業者名	一般社団法人低炭素投資促進機構
その他関連事業者名	
事業実施場所	坂出工場 (香川県坂出市沖の浜 30-60)
事業の概要	本事業は、食品工場の温水製造設備として、A 重油ボイラーに替わって温水製造用ヒートポンプを導入することにより CO2 排出量の削減を図るものである。
排出削減量の計画	2011 年度：165 tCO2/年 2012 年度：294 tCO2/年 (事業実施期間合計 459 tCO2)
国内クレジット 認証期間	事業開始日 2011 年 10 月 1 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 002 ヒートポンプの導入による熱源設備の更新

2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している。

3. 実施した審査手続きの概要

審査手続きにより、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続き
日本国内で実施されること	<p>事業計画が日本国内で実施されていることを、2012年6月13日に事業サイトを訪問して確認した。</p> <p>排出削減事業実施場所：坂出工場 (香川県坂出市沖の浜 30-60)</p>
追加性を有すること	<p>1) 法的義務がないこと 本事業は、法的義務等の順守のために計画されたものではなく、CO2 排出量の削減を目的として実施されたことを、削減事業実施者への質問等により確認した。</p> <p>2) 設備が継続利用可能であること 本事業を実施せず、設備更新を行わない場合、既存設備（A重油ボイラー）を継続して利用することが可能であったことを質問、関連資料の閲覧、及び事業サイト訪問時での既存設備の導入実施時期の確認により確認している。</p> <p>3) 投資回収年数 排出削減事業の投資回収年数については、入手した根拠資料、質問および検算により全体で5.1年であることを確認している。投資回収年数計算の根拠データについては、関連証憑と突合することにより正確性を確認している。また、投資回収年数については、本事業は補助金を受けておらず、全投資額をもとに算出していることを確認している。</p> <p>4) 追加性判断における定性要因 本削減事業者は、温水を多量に使用する事業内容であり、既存ボイラーによる重油使用量を削減してエネルギーコストを低減するとともに、低炭素化を推進していくことを目的として、ヒートポンプへの更新が計画された。また、設備更新提案の際に国内クレジット制度の紹介を受け、最終的に、本制度の活用によって環境貢献へのアピール効果を期待し、高効率ヒートポンプの導入を意思決定されたことを質問により確認した。以上の通り、本事業は国内クレジット制度への参加を意図して実施されたものであり、追加性があると判断できる。</p>
自主行動計画に参加していない者により行われること	<p>自主行動計画への参加の有無について、訪問時の事業者への質問、その他関係者への質問により自主行動計画に参加している事業者でない事を確認した。</p>

<p>排出削減方法論に基づいて実施されること</p>	<p>1) 本排出削減事業は、承認排出削減方法論 002 に基づき排出削減量を計算しており、該当する適用条件を満たしていることを確認した。</p> <p>適用条件 1 については、既存ボイラーよりも高効率のヒートポンプを導入していることを現地確認及び関係者への質問により確認している。</p> <p>適用条件 2 については、本事業により導入するヒートポンプは、温水・蒸気又は冷水を同時に製造することはないことを確認している。</p> <p>適用条件 3 については、本事業によりヒートポンプの導入を行わなかった場合、既存の A 重油ボイラーを継続的に利用できることを関連資料及び関係者への質問により確認している。</p> <p>適用条件 4 については、ヒートポンプにより生産した温水はすべて工場内で使用しており、他への供給はないことを確認している。</p> <p>2) その他、バウンダリーの設定、ベースラインの設定、リーケージの特定、排出削減量、モニタリングの方法が適切であることについて、それぞれ質問と関連証憑により確認している。</p> <p>3) ベースライン排出量の算定に係る既存設備の最大利用期間についていずれの設備も法定耐用年数の 2 倍を超えていないことを確認している。</p>
----------------------------	---

4. 特記事項

なし